

緊急通報に
ご活用ください

緊急通報システムを貸し出します

急病や緊急時に緊急通報を必要とする在宅でひとり暮らしの高齢者などに対し、緊急通報システム（装置）を貸し出します。

▼対象 おおむね65歳以上の市民、世帯員の就労などにより緊急通報を必要とする高齢者、重度の身体障がい者がいる世帯（単身世帯を含む）
※令和6年度から、家庭に電話回線がない世帯も対象になります。

▼1カ月当たりの利用料 生活保護世帯＝無料／全員が住民税非課税の世帯＝1,100円／住民税課税者が含まれる世帯＝1,650円
※毎年8月頃に課税調査を実施するため、利用料が変更になる場合があります。



■問い合わせ・申込先 介護福祉課高齢福祉係（市役所1階、☎40-7114）

指定施術所で
利用できます

高齢者はり・きゅう・マッサージ受療券を交付します

市指定の施術所で使用できる、はり・きゅう・マッサージの受療券を交付し、施術料を助成します。

▼対象 令和7年3月31日までに満65歳以上になる市民

▼申請期間 令和7年3月31日（月）まで
※年度内で1人1回のみ受け付けます／対象となる人は、64歳時点でも申請可能。

▼申請・交付場所 介護福祉課（市役所1階）、岩木総合支所民生課（賀田1丁目）、相馬総合支

所民生課（五所字野沢）
※受け付けは平日の午前8時30分～午後5時。

▼交付枚数 1人5枚（1枚につき500円助成）
※助成対象は医療保険適用外の施術に限ります。

▼申請に必要なもの 氏名・住所・年齢がわかるもの（保険証や免許証など）

▼その他 市指定の施術所は市ホームページで確認するか、お問い合わせください。

■問い合わせ先 介護福祉課（☎40-7114）

詳細は
問い合わせを

病児病後児保育施設を増設

4月から次の施設（病後児対応型）が増え、市内4カ所で病児病後児保育施設が利用できます。

【病後児保育室「Chibikko Care すくすく」】

▼場所 あおい杜保育園の2軒となり（高崎2丁目）

▼定員 6人

▼開設日時 月～金曜日＝午前8時15分～午後5時30分（土・日曜日と祝日は休み）

▼電話番号 ☎55-6855

【病児病後児保育の利用方法】

市への事前登録を済ませた後、施設に電話で予

約をした上で利用してください。

※各施設で利用方法や持ち物など詳細が異なります。必ず「利用のしおり」を確認の上、ご利用ください。「利用のしおり」は、こども家庭課（市役所1階）、岩木・相馬総合支所民生課、弘前市こども家庭センター（ヒロロ〈駅前町〉3階）の窓口等で配布しているほか、市ホームページにも掲載しています。

■問い合わせ先 こども家庭課保育係（☎35-1131）

▼調査期間 4月16日（火）～5月14日（火）

▼対象 16歳以上の市民＝約2,600人

※住民基本台帳から無作為に抽出します。

▼調査方法 調査員が対象世帯を訪問し、アンケート用紙を配付します。記入した回答用紙は調査員へ提出してください（インターネット回答も可）。

■問い合わせ先 広聴広報課統計係（☎40-7016）



市民意識アンケートを実施します

市政や市民生活に対する市民の意識・意向を把握し、施策の企画・改善に活用するためのアンケートを実施します。調査結果は、今後の市政運営にとって重要な基礎資料として活用しますので、ご協力をお願いします。

弘前れんが倉庫美術館の催し

AOMORI GOKAN アートフェス 2024「つらなりのはらっぱ」

弘前れんが倉庫美術館を含む県内5つの美術館・アートセンターを中心に、「AOMORI GOKAN アートフェス」を初開催します。5館の特徴を活かした展覧会や各館を巡回する共通企画を実施するほか、各地でさまざまな関連イベントを実施します。また、5館をお得に周遊できる電子チケットも発売します。この機会に、県内の5館を巡ってみませんか。

▼会期 4月13日（土）～9月1日（日）

▼ところ 青森県立美術館（青森市安田字近野）、青森公立大学 国際芸術センター青森（青森市合子沢字山崎）、弘前れんが倉庫美術館（吉野町）、

八戸市美術館（八戸市番町）、十和田市現代美術館（十和田市西二番町）ほか

▼公式ガイドブック付き5館周遊チケット 公式ガイドブック（美術館や公式フェスサポーターのショップ等で割引やサービスを受けられる「スタンプラリー&パスポート」付き）とセットになった5館周遊電子チケットはオンラインでの事前購入が必要です（数量限定）。

チケットの購入や各館の展覧会・イベント情報は公式ウェブサイト（QRコード）で確認してください。

■問い合わせ先 AOMORI GOKAN アートフェス 2024 実行委員会事務局（青森県立美術館内、☎017-783-3000）



AOMORI GOKAN アートフェス 2024 弘前れんが倉庫美術館の展覧会

市民割がスタート！
市民なら当日料金から500円引き！
※市民割を受ける場合は、受付で住所がわかる証明書の提示を。

蜷川実花展 with EiM：

儚くも煌めく境界 Where Humanity Meets Nature



本展は、写真家・映画監督として活動する蜷川実花さんが、クリエイティブチーム・EiM（エイム）との協働により実現する大規模な個展です。

EiMとともに作りあげる壮大なインスタレーション作品のほか、日本各地の花々を捉えた作品を紹介します。また、最後の展示室には、蜷川さんが弘前で撮影した桜の新作写真が登場します。

▼会期 4月6日（土）～9月1日（日）

▼開館時間 午前9時～午後5時（最終入場は午後4時30分）

※4月23日（火）・30日（火）、8月6日（火）を除く火曜日は休み。

▼観覧料 一般＝1,500円、大学生・専門学校

生＝1,000円、高校生以下＝無料
※障がい者と付き添いの人1人、65歳以上の市民、市内の外国人留学生、ひろさき多子家族応援パスポートを持っている人は無料。証明できるものの提示を。

【同時開催】弘前エクステンジ #06「白神視見考」
しらかみのぞきみこう

弘前市を含む津軽平野を流れる岩木川の源流の地でもある白神山地をテーマに実施するリサーチ・プロジェクトです。作品展示やワークショップ、トークイベントなどを実施します。

▼ところ 弘前れんが倉庫美術館、HIROSAKI ORANDO（百石町）、ギャラリーまんなか（吉野町、中央弘前駅構内）

※開館時間や休館日は各会場で異なります。

▼観覧料 無料

※美術館展示室内の作品観覧には「蜷川実花展」の観覧券が必要。

展覧会等の詳細は美術館ホームページ（QRコード）で確認を。

■問い合わせ先 弘前れんが倉庫美術館（☎32-8950）



参考図版 蜷川実花《Intersecting Future 蝶の舞う景色》
2023年 ©mika ninagawa, Courtesy of Tomio Koyama Gallery

作品画像 狩野哲郎《系（水平の車輪、マーブル、集中線）》
2024年 Courtesy of the artist